

粕尾地区

人口	男	639人	女	609人	計	1,248人	世帯数	490世帯
----	---	------	---	------	---	--------	-----	-------

※人口、世帯数は令和4年1月1日時点

《事業概要【分野】と主な支出内容》

①地域世代間交流事業【世代間交流】

粕尾川において、子ども達による川遊びやマスのつかみ取りなどの自然体験学習を実施し、参加する親子を始め地域住民の交流を図る。

粕尾川清流まつり(マスつかみ取り大会)の実施

②次世代育成支援地域間交流事業【観光】

粕尾地区の子ども達や市内他地区、市外の子ども達を対象とする星空観察会を実施し、次の世代を担う子ども達に粕尾の魅力を再発見してもらうとともに、粕尾の自然等を地区外に向けてPRする。

天体望遠鏡の購入、星空観察会の実施

③防犯・防災対策推進事業【防犯・防災】

防犯カメラの設置による犯罪の抑止、及びドクターヘリランデブーポイントの整備や一時避難所として使用する支部公民館のバリアフリー化を行い、安全に安心して生活できる住環境を整備する。

防犯カメラの設置(2基)、ドクターヘリランデブーポイントの整備(旧上粕尾小学校校庭の芝生化)、芝管理資機材の購入、大八区公民館のバリアフリー化

④野生鳥獣対策事業【鳥獣対策】

粕尾地区全体の課題である野生鳥獣による被害軽減のため、資材等の購入などによる支援を行う。

地区内野生鳥獣対策の支援、台風被害等の補修資材の配布

《収支決算》

【収入(円)】

費目	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
地域の夢補助金	1,916,000	624,000	3,690,000	4,558,000	994,000	11,782,000
その他補助金	0	0	3,269,000	0	0	3,269,000
自己資金	654	216	1,861	1,639	3,465	7,835
計	1,916,654	624,216	6,960,861	4,559,639	997,465	15,058,835

【支出(円)】

事業No	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
事業①	—	220,080	291,640	0	0	511,720
事業②	448,686	269,136	32,355	45,100	0	795,277
事業③	1,467,968	37,800	6,415,570	2,659,938	890,760	11,472,036
事業④	—	97,200	221,296	1,854,601	106,705	2,279,802
計	1,916,654	624,216	6,960,861	4,559,639	997,465	15,058,835

《事業への取り組みを振り返って》

粕尾地区は、東西に細長い形状の地区であり、粟野地区に接する平地部から横根峠に近い山間部まで地区内においても環境が大きく異なっております。

環境の違いにより地区の課題も多岐にわたることから、粕尾地区全体で世代を超えて交流を図る「地域世代間交流事業」、満天の星と共に粕尾地区の良さを地区内の住民、特に子ども達に再発見してもらおうと共に、地区外からの参加者を通じ、外へ発信する「次世代育成支援地域間交流事業」、過疎化が進む中での防犯対策や緊急時はもちろん、台風などの災害に備える「防犯・防災対策推進事業」、地区内共通の課題である「野生鳥獣対策事業」の4事業に取り組んできました。

① 地域世代間交流事業

粕尾地区は範囲が広い上に少子高齢化の影響もあり、子供から高齢者まで一緒にふれあう機会が少なくなっていることから、粕尾川漁業協同組合と協力し、「粕尾川清流まつり(マスつかみ取り大会)」を開催しました。



マスのつかみ取りの様子



子供から高齢者まで多くの人でにぎわいました

② 次世代育成支援地域間交流事業

地区内の住民はいつも見慣れている満天の星ですが、鹿沼市内や都市部ではこれだけの星空はなかなか見られないものです。そうした地区の誇れる資源を再発見し、地区内の住民に星座や天体に興味をもってもらい、また、そうした資源を地区外に発信し、粕尾地区の良さを市内の他の地区や都市部の人達にアピールしようと事業を開始しました。

まず、地区内の子ども達を中心に星空観察会を開催し、星座への興味を持ってもらい、事業後半は、地区内はもちろん、市内や墨田区立あわの自然学園の利用者を対象に参加者を募集し、「星空さんぽとハイキング」と題し、横根ハイランドロッジに宿泊し、夜は星空観察、翌日は、横根高原から井戸湿原の散策など、粕尾地区の自然を満喫できる事業を企画しました。

事業後半の「星空さんぽとハイキング」は、令和元年東日本台風、その後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、残念ながら実施に至りませんでした。

しかし、今後も横根山の豊かな自然をはじめ、きれいな星空など粕尾地区の魅力を地区内住民に再発見してもらうとともに、市内外に発信していきたいと考えています。



星空観察会の様子

③ 防犯・防災対策推進事業

地区内の住民が安全に安心して暮らせるよう次の事業を実施しました。

まず、防犯対策として、防犯カメラを2基設置しました。

当地区は、県道鹿沼足尾線が基幹道路となるため、事件事故の際に今回設置した防犯カメラにより、粕尾地内を通過する車両の特定が可能となったほか、犯罪の抑止効果にも期待しています。

次に防災対策ですが、当地区は、県道鹿沼足尾線に沿った東西に細長い地形であり、令和元年東日本台風の際には、土砂崩れや河川の増水により県道鹿沼足尾線が崩落する被害が数か所発生し、被害箇所から上流部の地区が一時孤立する事態となりました。今回の被害の状況を考慮し、また夜間や高齢者で市指定の避難所まで避難が出来ない場合に備え、支部公民館を一時避難所として活用出来ないかと考え、避難所として利用できる公民館のバリアフリー化を行いました。

また、上粕尾地区は、通常でも鹿沼消防署粟野分署から車で30分以上かかること、そして災害時に孤立してしまう可能性があることなどから、ドクターヘリのランデブーポイントとして、旧上粕尾小学校の校庭を芝生化し、一刻を争うような急病の場合に散水などを行わなくてもドクターヘリが離着陸出来るように整備を行いました。今後は、芝生化と同時に導入した芝刈機等の資機材を活用し、いつでもドクターヘリが離着陸出来るよう維持管理を行い安心な地域づくりを行っています。



ランデブーポイントとして校庭を芝生化

④ 野生鳥獣対策事業

今や各地区共通の課題となっていますが、粕尾地区では山間部ということもあり毎年かなりの被害が出ています。現在、支部単位で国庫補助によるワイヤーメッシュフェンスの設置を行っていますが、なかなか解決には至っておりません。

当事業では、支部で行っている野生鳥獣対策の支援と地区全体の情報共有を目的に事業を展開しました。



フェンス設置の様子

既に設置されたフェンスも一部老朽化したものがあるほか、シカやイノシシにより破損した箇所があり、今後の維持管理に課題がありました。また、早い時期に国庫補助で導入したフェンスは高さが不足していることから、低いフェンスの嵩上げを行うためのネットなどを提供したほか、破損した箇所の補修用資材の提供を行い、既存のフェンスの有効活用を図りました。

また、令和元年東日本台風の際には、既に設置されたフェンスが土砂により流出や破損してしまいました。そうしたフェンスの復旧にも当事業が有効に活用されました。

野生鳥獣対策は、今後も継続して取り組まなければならない課題です。地区内での情報共有など連携を図りながら、被害軽減に取り組んでいきます。